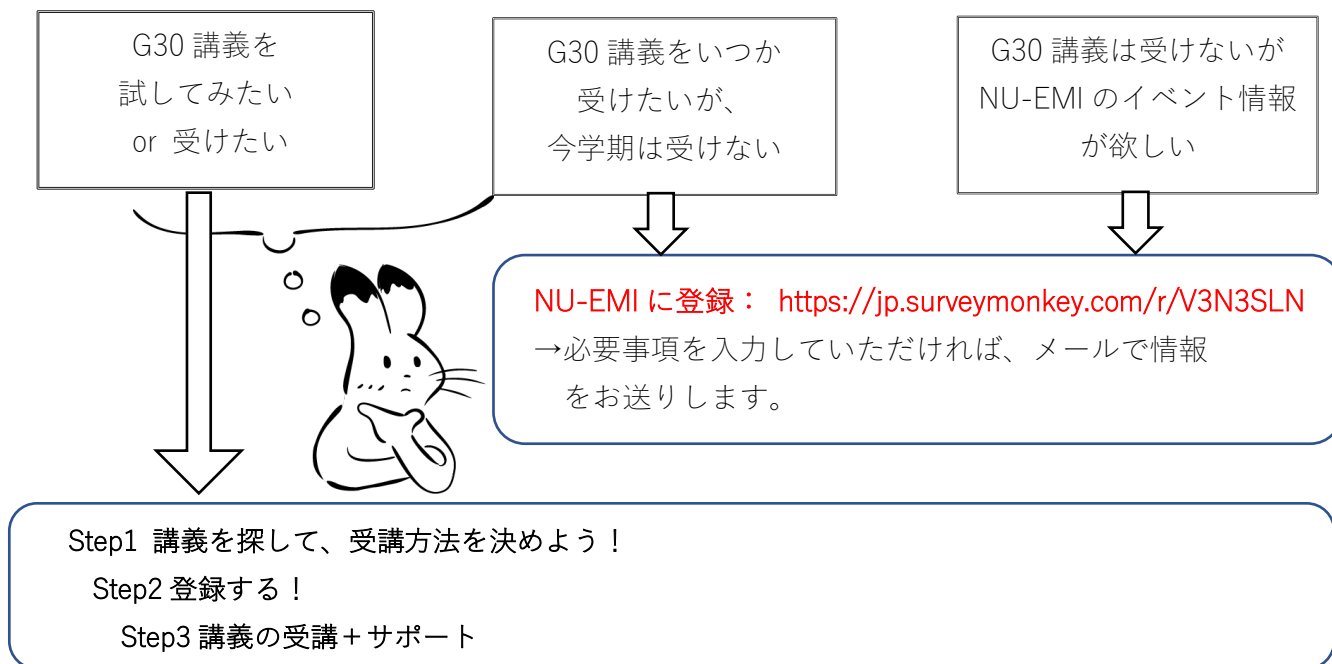


NU-EMI 2023 Spring  
登録方法と G30 講義受講・サポートまでの流れ  
 今学期は以下の登録方法とします



Step1 講義を選んで、受講方法を決めよう！

<講義の探し方>

①どんな講義があるのか、NU-EMI のホームページのコースリスト&タイムテーブルをみてね。

★ NU-EMI ホームページには日本人学生の受け入れのウェルカムな講義を載せています。

●コースリスト・タイムテーブル：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/course/>

-タイムテーブルの「講義名」をクリックするとシラバスが見られます。

-タイムテーブルの「教員名」をクリックすると教員からのメッセージが見られます。

-タイムテーブルの下の方には、講義の詳細が一覧表にしております。PDF は全体が見られます。

Hint! 自分に空きコマや、興味、講義の難易度、過去の受講生の体験談などを参考に探してみよう。

受講者体験談：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/experiences/>

②その他の G30 講義を探す方法

●教養教育院サイト：全 G30 教養科目(ILAS)のリスト (下の PDF をご参照ください)

\* 語学の講義、体育や実習などの講義は対象外です。

[http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/2023\\_Spring\\_TimetableB\\_1styear.pdf](http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/2023_Spring_TimetableB_1styear.pdf)

[http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/2023\\_Spring\\_TimetableB\\_2ndyear.pdf](http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/2023_Spring_TimetableB_2ndyear.pdf)

●名大ポータルで検索：講義名、教員名等で講義を探してください。

\* 日本人学生の受け入れをしてくれるかは、各自で担当教員に問い合わせてください。困ったら、NU-EMI 事務室にも相談してくださいね。(問い合わせ方法は、Step2 で)

### <受講方法を決める>

3つの受講方法：履修登録して「単位取得を目指す」そして、「聴講」があります。

Hint! 英語力など色々心配という場合は、③「お試し受講」をしてみてください。

① 「単位取得」：名大ポータルで『履修手続き』をして、単位の取得を目指します。

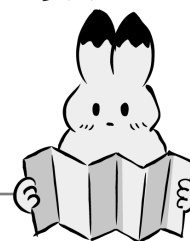
所属学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。

G30 講義を、卒業に必要な単位と認める学部もあれば、卒業に必要な単位数に数えない「随意科目」\*として扱う場合があります。また、そもそも制度的に履修できないパターンもあります。

詳細は、別紙「国際プログラム専門科目の履修：学部別修得単位と GPA 参入について」や、所属の教務に確認してください。

Hint! 学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。

詳細は所属の教務に確認してください。



#### 参考：全学教養科目について

(別表参照 <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/803e1521ed8e066597fa5663099d2f2a.pdf>)

- ・全学教養科目 国際理解科目のうち「一般共修科目」は、みなさん履修可能です。
- ・全学教養科目 国際理解科目のうち「EMI科目」は、新2年生のみ履修可能です。
- ・全学教養科目 国際理解科目のうち「EMI科目」は、新3年生以上は、随意科目\*として履修可能です。

\*「**随意科目**」：卒業要件に関わらない授業科目で、5段階により成績評価がなされ成績表に記載されます。  
なお、GPAには算入しません。

② 「最後まで聴講する」：単位取得を目指さない/(制度的に履修登録できなくて) 目指せないが、最後の講義まで受講し続けます。

- ・担当教員に聴講の許可をもらって、TACT(元 NUCT)リストに追加してもらいます。
- ・講義には毎回出席してください。出席したりしなかったりは認められません。
- ・受講の記録は成績表に記載されません。(記録が残りません)
- ・課題、試験等についてどうしたら良いかは、直接担当教員と相談してください。
- ・聴講を途中で止めるなど、変更がある場合は必ず担当教員と NU-EMI に連絡してください。
- ・聴講の場合でも、担当教員が認めれば、サポートを受けることは可能です。



③ 「お試し受講」：1回分、講義をお試しで受講ができます。試してから、単位取得を目指すか、聴講するか、受講しないかを決められます。

- ・お試し受講期間は4/11(火)から4/17(月)までです。
- ・お試する前に、担当教員と NU-EMI にお試し受講の意思を伝えて、TACT(元 NUCT)リストに追加してもらいます。
- ・お試し受講した結果、受講するか否かを4/17(月)までに教員に連絡してください。

- ・また、単位取得受講する場合は、名大ポータルで履修登録（修正入力期間は 4/11～/18(火)13時）を忘れずに。
- ・また、NU-EMI 登録に再入力し、お試し受講した結果と、サポートの要不要を連絡してください。

## Step2 登録する！

### ★NU-EMI の受講登録：\_

受講方法、サポートの要不要にかかわらず、下のリンクより必ず登録してください。

教員との連携およびサポートを手配します。また各種情報を提供します。

なお、名大ポータルの履修登録や TACT(元 NUCT)とは別で、連携していません。ごめんなさい。

リンク：<https://jp.surveymonkey.com/r/V3N3SLN>

### ★担当教員へメール：\_

受講する講義の担当教員にメールで、受講（単位取得、聴講）/お試し受講の意志を伝えてください。聴講、お越し受講の場合は TACT リストに追加してもらってください。

- ・メールアドレスは、講義一覧あるいはシラバスに記載されています。

Hint! メールの書き方は、後ろの方のテンプレートを使えば書けますよ。

### ★単位取得を目指す場合は名大ポータルで履修登録：履修登録、修正期間中

NU-EMI の登録と名大ポータルは別で、連携していませんので、それぞれおこなってください。

## Step3 講義の受講+サポート

① 4月11日（火）から講義が始まりますので、それぞれ受講してください。

② NU-EMI のサポートも順次スタートします。

- ・対象者：学期を通して G30 講義を受講し、サポートを受けは続けることができる方。

（講義を途中から継続できなくなった場合はサポートも中止します。）

- ・サポート方法：NU-EMI が講義担当教員に相談し、手配します。



### ●個人指導

- 1) 担当教員が選んだ G30 留学生チューター or 留学生の大学院生等による 1対1 の個人指導
- 2) 指導時間数は学期を通じて 30 時間まで（週 1.5～2 時間程度）。少なくとも 15 時間以上は指導を受けてください。
- 3) 指導内容、指導の方法（対面/オンライン、実施日時、場所等）はチューターと決められます。
- 4) 指導に関する詳細はこちらの注意事項をご参照くださいね。

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/wp/wp-content/uploads/2020/06/8523cb0b75b35b3ad754246847ce7fb3.pdf>

参考) チューター活動について G30 学生が作ってくれたビデオです。

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/video/>

### ●グループ学習

- 1) G30 留学生チューターあるいは留学生 TA と複数の日本人学生とでグループで学習します。
- 2) グループ学習は学期を通して参加してください。
- 3) 講義内容によって、講義の担当教員が初めからグループ学習を決定しているものもあります。お越し受講であっても、グループ学習に参加できる場合があります。

<参考情報>

★ 受講者説明会

日時：4月3日(月) 13時から13時45分

場所：ES 総合館 ES 会議室

方法：対面とオンライン(Zoom)のハイブリット

登録：不要

“G30 教員や、留学生、受講経験者のお話もありますので、ぜひお気軽にご参加ください。”

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/events/2105.html>

当日の録画を NU-EMI webpage に掲載予定です。

★ 受講お悩み相談会

日時：4月5日(水)、6日(木)、7日(金) 午後1時から4時

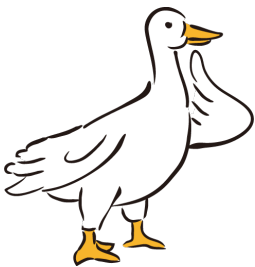
場所：理学部E館 2階 E202

方法：対面

登録：不要

“受講経験者、G30 学生や、NU-EMI コーディネータに聞いてみよう”

どの講義を取ったらいいかわからない? G30 学生と個人指導ってどんな感じだろう? など、何でもお気軽にご相談ください。”



★ 受講者体験談：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/experiences/>

★ ご質問や困ったことがあった場合は、お気軽に NU-EMI 学生窓口へご連絡ください。

NU-EMI 学生窓口：<https://jp.surveymonkey.com/r/VRRTV7Y>

続いて、教員へのメールの書き方です

## 担当教員へメールを送ろう！

- ★必ず全学のメールアドレスから送ってください。(教員が必要な情報です。)
- ★テンプレートの<>内の青文字部分を入れるだけで大丈夫です。
- ★G30 教員には、皆様からメールが届くことをお伝えしていますので、大丈夫です。  
\* Studium Generale(金曜5限)は教員へのメールが不要です)

### <メールテンプレート>

1) 受講の希望を教員に伝えるメール文例:

メールのタイトル : Request to take your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

自  
分  
の  
情  
報

I am <Full NAME 名前 例 Hanako MEIDAI (Family name 苗字は CAPITAL letters 全部大文字)> ,  
a < 学年 例 first, second, third, fourth > year <SCHOOL 学部 Science, Law, Engineering 等>  
student.

My student number is <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) > and my Nagoya University  
ID is, < 名大 ID aa0000000 (letters and numbers アルファベットと数字)>.

受  
講  
方  
法

受講方法によって、a,b,c,d の場合から一つ選んでください

a.単位取得受講の場合、

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> for credits.

b.最後まで聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end.

c.学部の制度上、単位が取れないため、聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end, because regulations  
do not permit me to officially take your course.

d.お試し受講の場合、

I would like to try your course, <COURSE NAME 講義名> before I decide whether to take it or not.

講  
義  
内  
容  
の  
知  
識

教員への情報として、講義内容の知識をお伝えすると教員も対応しやすいです。

a, b, の場合から一つ選んでください。

a.講義内容について全く知識がない場合 (他学部・学科の講義を受ける場合など)

I have no experience with your course content.

b.講義内容に近い講義を、<日本語で・英語で>受講した経験がある場合

I have taken similar course < Course name > in <Japanese /English > before.

お  
わ  
り  
に

I ask that you add me to the NUCT/CANVAS list so that I can access your course material.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

2) 受講をやめたい場合のメール文例

受講をやめるのは、何も悪いことではありません。そのように決めた場合、教員にその旨伝えることはとても大事です。受講しないと決めた場合は必ず連絡して下さい。

メールタイトル : Request to withdraw from your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

I am <Full NAME 名前 例 MEIDAI Hanako (family name in CAPITAL letters 苗字は全て大文字で)> ,  
student number <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) >.

I would like to withdraw from your course <COURSE NAME 講義名>.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

NU-EMI プロジェクト